

IPS全国研修申込み締切迫る！6分科会を紹介！！

治療としてのIPS **分科会1**

IPSにおいて、仕事を得ることは、人々の生活を豊かにしてくれるといわれています。また、IPSの効果が現れ始めたあとには、IPS提供機関のいたるところで変化があり、組織にもいい影響をもたらすといわれています。この分科会では、次のキーワードを盛り込みながら、精神科病院のIPS実践者より実践報告およびIPS利用者の声を紹介し、IPSの解説をしていきます。最後に会場の皆さんとディスカッションしていけたらと考えています。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



【キーワード】

- ・IPSの対象者
- ・求職者がIPSプログラムに参加するタイミング
- ・多職種によるチームアプローチ
- ・求職者・就職者の変化
- ・IPSを導入したことで組織にもたらした変化
- ・働くことをあきらめている方に対してできること

【内容】

- ・分科会の趣旨説明
- ・IPSの概要と実践報告
- ・デイケアにおけるIPS型就労支援の取り組み
- ・ディスカッション



講師：中原さとみ氏(桜ヶ丘記念病院 PSW：東京都)

リカバリーキャラバン隊(東京都) 佐藤江美氏(慈雲堂病院 PSW：東京都)



講師：山口創生氏(国立精神・神経医療研究センター)

精神保健研究所 援助技術研究室長(東京都)

飯木奈津恵氏(多機能型事業所あすなる)

就労支援担当(岡山県)

正しいストレングスモデル **分科会2**

ストレングスモデルとは…

専門分野や障害領域に限らず、広く注目されているケアマネジメントに関するモデルの1つです。その基盤にあるものは、利用者と支援者との関係性や利用者の主体性です。このモデルでは、スーパービジョンによって育成されたスタッフが、専用のツールを使って利用者の良いところや支援計画を整理していきます。スタッフは、利用者の良いところを見つけるために、個別に利用者の生活場面でのサービスを提供することが期待されています。

本分科会では、次のようなことを予定しています。

- ・ストレングスモデルのエッセンスや枠組み、その効果についての紹介。
- ・それらを踏まえて、グループスーパービジョンのデモンストレーションを行います。

支援者の皆さんはストレングスモデルの視点や活用方法を知り、明日からの日々の関わりに活かしてみませんか？

就労サービスを受ける皆さんもこんな視点があるんだなあと知り、支援者の方と一緒にご自分についてよりよく知る機会にしてみたいはいかがでしょうか？(また、グループスーパービジョンの実施方法は、就労支援の事業所においても適用できるものです)皆様のご参加、お待ちしております！

動機付け面接のいろは **分科会3**

私たちは常に変化し続けています。そして、特に変わることが重要なときがあります。たとえば、もっと元気になるため、好きなことや自分の役割などやりがいのあることをするため、周りの人との関係を良くするため、そして、夢や希望を実現させるため、これまでとは行動のパターンをかえることが必要になるときがあります。

しかし、わかっているけどできない、長続きしないということがよくあります。また、周囲の人の目からは変わる必要性が明らかなのに、本人はその必要性を感じていないことも珍しくありません。

本人によかれと思って説得したり、励ましたりしても一向に効き目がなく、がっかりした経験のある方は多いでしょう。

そのため、支援に関わるスタッフにとって、利用者や家族、関係者が自ら望ましい方向に変わるように効果的に支援するスキルをもつことは大切です。

スタッフにとっても、自分の実践やチームワーク、組織の機能を向上させていくために変わることが重要です。本分科会では、人の変化についての理解を深め、変化にむけて支援するためのスキル習得をめざします。



講師：香田真希子氏

(目白大学 准教授：埼玉県)

職場開拓のスキル **分科会 4**

当事者のご希望に沿った形での就業を模索していく過程において、直接求人のあるようなところにアプローチする「職場開拓」は、なかなか役に立ちます。

本分科会では IPS における職場開拓について、皆さんと経験を持ち寄りながら学んでいけると考えています。

関心のある方のご来場をお待ちしております。

【内容】

- ・ ストレングスアセスメント～職場開拓
- ・ ES の姿勢
- ・ 職場開拓の流れ（事例から）
- ・ ワーク



講師：本多俊紀氏（コミュニネット楽創 総務部部長：北海道）



池田真砂子氏（社会生活サポートセンターこみっと 就労支援担当：東京都）

発達障害と IPS **分科会 5**

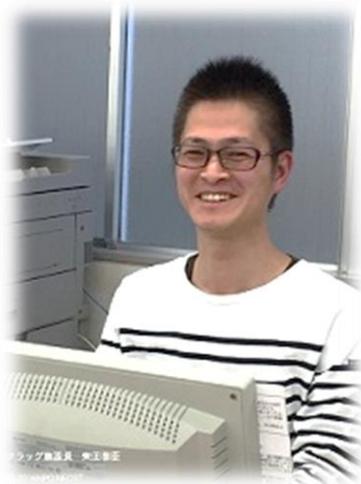
発達障害という言葉が広まり、研修も豊富にある昨今。発達障害の方の支援に手ごたえを感じている方も、まだまだ悩み続けている方もいらっしゃると思います。いずれの方も、一度はこんな考えが頭をよぎったことがあるのではないのでしょうか。

「IPS は、発達障害の方にも、精神障害の方と同じように効果があるのだろうか??」

え、考えたことないですか!? 考えたこともないという方にとっては、本分科会は物足りないかもしれません。考えたことがある方は、ぜひその考えをみなさんとシェアしてみませんか。

8 原則やキーコンセプトに照らして考えていく中で「この日本で、発達障害の方の支援に IPS を活かしていくコツ」や「発達障害の方の支援を通して、改めて 8 原則やキーコンセプトの本質を理解すること」が会場全体で共有できるのではないかと期待しており、私自身もとても楽しみにしています。

本分科会では、ご参加のみなさまの声をたくさん伺いたいと考えています。参加型のワークが好きな方はぜひご参加ください。人前で話すことが苦手な人は・・・勇気を出してご参加ください（参加しやすい工夫はいたします）。



講師：柴田泰臣氏（コースキャリアセンターフラッグ 施設長：千葉県）

定着・フォローアップについて

分科会 6

「IPS って、離職 OK なの?」

「でも、できれば同じ職場で長く働いた方がいいよね」

「企業の人事担当者も、長く働いてほしいと言ってくれたし」

就活しているときには内定、就職がひとつの目標になります。その後の定着、フォローアップとなると、迷う場面があったり難しさを感じたりすることが多くなるのではないのでしょうか?

本分科会では、「よくある疑問」や「悩みが生じる場面（モデル事例）」を取り上げ、みなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

意見交換の時間も多く設ける予定です。ぜひ、ご参加ください。



講師：大島みどり氏

(障害者就職サポートセンタービルドⅡ 施設長：東京都)